



# 10月 園だより

社会福祉法人雲柱社  
五日市保育園

風に揺れるススキや、風に乗って届く金木犀の香り、暗くなると聞こえてくる虫の声にも秋を感じます。これからお散歩に出かけることも多くなると、子どもたちはドングリや色づいた落ち葉など、たくさんの宝物を持って帰ってくることでしょう。一緒に神さまが創られた秋の自然に触れたいと思います。

保育園では毎年10月に、お隣の五日市小学校体育館をお借りして運動会（幼児）を行っています。今年は運動会の日程と小学校体育館の工事日程とが重なってしまったため、初めて五日市中学校の体育館をお借りして行うことになりました。中学校のご厚意で子どもたちにも何回か体育館を見学させていただきました。初めての場所に大人も子どもたちもちょっとドキドキします。

練習ではしっかり出来ていたのに、当日は緊張してうまく出来ない子もいるかもしれません。反対に練習では今一つ乗り気になれなかったけれど、当日は張り切って出来る子もいるかもしれません。どんな姿を見せてくれるのかは当日までわかりませんが、子どもたちの大切な育ちの一場面をどうぞ温かく見守ってください。

## 「出来るけど・・・手伝ってほしいの」



「お靴はいてね」「できない～」「やって～」「え～自分で出来るでしょ？」

保育園の玄関先でよくある場面の一つです。

成長とともに自分で出来ることがどんどん増えていく子どもたち。自分で出来るようになったことは頑張ってやってほしいと思われることでしょう。チャレンジャーな子どもたちは出来ないことは「自分で！」とトライしてみたいし、反対に出来ることはやりたくない気分の時もあるようですね。

「出来るでしょ」→はい、出来るんです。本当は。でもなんとなく今日はちょっと手抜きして、ちょっと甘えてお手伝いしてほしい気分なのです。心の拠りどころである大好きなお家の人、自分の思いを受け止めてくれるか試したくなったりすることもあります。そんな時には「今日は手伝ってほしい気分なのね」とどうぞ手伝ってあげてください。ここでやらなかったからといって出来ていたことが出来なくなってしまうことはありません。よく考えてみたら私たち大人だって出来ることを毎日全部やろうと思うと、なかなかしんどいのではないのでしょうか。今日はちょっと手抜きしようとか、今日はまあいいかとか、そういう気分の時ってありますよね。それでいいのです。大人も子どもも完璧でなくていい。時にはちゃんと手抜きすることも大切です。誰かに頼ったり手伝ってもらったりしながら共に過ごす人がみんな必要なのです。

神さまは人間を作った時に「人が独りでいるのは良くない」とパートナーを作られました。聖書の最初にある創世記という書物に書かれています。最近は一人生きていける力をつけることが推奨される社会になっているように感じることもありますが、私たちは神さまが言われたように、1人より2人、3人、4人…と繋がりながら共に生きていきたいと思えます。子どもたちにも、お家の方にも、誰にでも困った時は助けてくれる人、不安な時にそばにいてくれる人、嬉しい時に一緒に喜んでくれる人がいます。そして神さまも必ず共にいてくれます。インターネットなどが普及した、どんなに便利な社会の中でも、このことは忘れずにいてほしいと思っています。

(園長 関根富美子)



I am with you

わたしは あなたと共にいる。

(イザヤ書43章8節)

